

ICANN81 ccNSO関連報告

第71回ICANN報告会
2024年12月9日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
- 約250のccTLDの内、約170のccTLDが参加。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

11月10日(日)	<ul style="list-style-type: none">▪ Council Workshop▪ TLD-OPS Table Top exercise
11月11日(月)	<ul style="list-style-type: none">▪ Tech day
11月12日(火)	<ul style="list-style-type: none">▪ ccNSO Members Meeting Welcome Session▪ Engaging with the GDC: Insights for ccTLDs in the WSIS+20 process▪ ccNSO DNS Abuse session by ccNSO DNS Abuse Standing Committee▪ Policy Gap Analysis WG updates▪ Joint session: ccNSO & ICANN Board
11月13日(水)	<ul style="list-style-type: none">▪ Joint Session: ccNSO & GAC▪ Q&A with Council candidates & Board Seat 12 candidates▪ ccTLD News
11月14日(木)	<ul style="list-style-type: none">▪ ccNSO Council

インターネットガバナンス関連議論へのIPRS ccTLDの関わり(1/2)

- セッションの企画者
 - Internet Governance liaison Committee (IGLC)
- 目的
 - 9月の国連未来サミット(*)で採択されたGlobal Digital Compact (GDC) やWSIS+20プロセスに関する動向共有
 - WSIS+20プロセスへの参加促進
 - 特に、インターネットガバナンス関連の議論への関心が低いccTLDを対象に、関与することの必要性を訴求
 - IGLCは、動向共有・プロセスへの参加啓発を、ICANN会合の場だけでなく、ccNSOメンバ向けのニュースレターなどを利用し、積極的に実施

(*) 国連未来サミット

https://www.unic.or.jp/files/our-common-agenda-summit-of-the-future-what-would-it-deliver_J.pdf

インターネットガバナンス関連議論への ccTLDの関わり(2/2)

- 形式

- モデレーターがパネリストに質問する形で進行
- モデレーター
 - Annaliese Williams (.au: IGLC Chair)
- パネリスト
 - GAC(エジプト、スイス): 主に動向共有
 - ccTLD(.br、.de、.jp) : 主に取り組み内容を共有

- 結果

- ccTLDならではの立場を活かした取り組みを行うことの重要性が共有された
 - ccTLDはインターネットを、オープン・グローバル・相互運用可能・安定・安全に保つことの重要性を知る立場
 - 各ccTLDの政府(GACメンバ)との密なやり取りが可能

ccNSO評議委員・ccNSO選出理事の 立候補者へのQ&Aセッション(1/2)

- ccNSO選出のICANN理事枠(Board Steat12)選挙
 - 期中辞任したKatrina Sasaki氏
の後任を選ぶ選挙
 - ICANN理事会には、ccNSOから2名理事を選出
 - もう一名はPatricio Poblete(.cl)
 - Byron Holland (.ca:写真左)と
Nick Wenban-Smith(.uk:写真右)
が立候補



ccNSO評議委員・ccNSO選出理事の 立候補者へのQ&Aセッション(2/2)

• ccNSO評議委員選挙

- 対象者: 2025年3月に任期満了
- 各地域選出のccNSO評議委員の改選に向け、立候補者が所信表明と質疑応答を実施
 - AP地域枠・LAC地域枠は立候補者が2名のため選挙となる

地域	現	今回の立候補者
北米 (NA) 地域	Pablo Rodriguez (.pr)	Pablo Rodriguez (.pr)
ラテンアメリカ & カリブ (LAC) 地域	Demi Getschko (.br)	Everton Teles Rodrigues (.br) Diego Ernesto Luna (.co)
アジア太平洋 (AP) 地域	Jordan Carter (.au)	Jordan Carter (.au) Nhuyen Thi Thu Thuy (.vn)
ヨーロッパ (EU) 地域	Nick Wenban-Smith (.uk)	Nicklas Pousette (.se)
アフリカ (AF) 地域	Biyi Oladipo (.ng)	Biyi Oladipo (.ng)

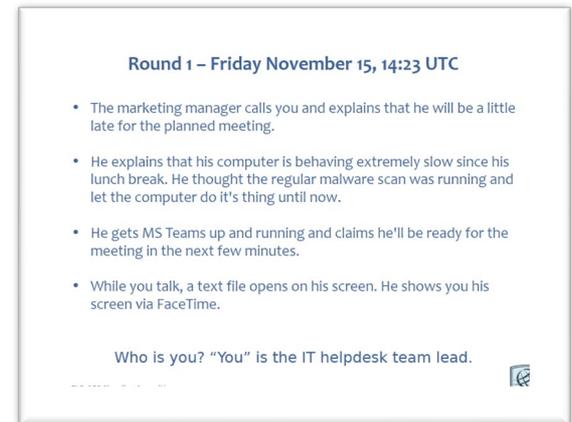
ランサムウェアを事例とした机上訓練(1/3)

- 主催者
 - TLD-OPS standing Committee
 - TLD-OPSとは、インシデント解決のためのレジストリ間での連携を目的とした運用者のコミュニティ
- 目的
 - 机上訓練への参加を通じ、各ccTLDがそれぞれのレジリエンスを向上させる
- 対象者
 - ccTLDに所属し、かつ、ICANN81の現地参加者
 - 業務担当者(営業・法務・広報・システム運用等)から経営陣まで幅広く参加

ランサムウェアを事例とした机上訓練(2/3)

机上訓練の大まかな流れ

- 参加者は主催指示により小グループ(6~8名)に分かれる
 - グループ内は、異なる担当業務を持つ参加者の集まりとなるよう調整された状態(申込時に担当業務の入力を求められる)
- 事件について、主催者が小グループに情報を提供
 - 情報は、事件の説明(日時や状況)を含む
- 状況把握・対応を検討し、与えられたカードの中から取るべきアクションを3つ選択する【制限時間15分】
 - 行動候補の書かれたカード(約50枚)があらかじめ各グループに配布される
- 2.と3.を5回行い終了
 - ストーリー仕立てになっており、回を重ねるごとに新しい情報がグループ内にもたらされる



ランサムウェアを事例とした机上訓練(3/3)



• 訓練の様子

- 制限時間(15分)内に状況分析と対応の検討・判断を行うことにどのグループ苦戦
- どのグループも活発な議論が行われる

• 結果

- グループにより、技術的対処や政府機関への報告など、対応する順番が大きく異なっていた
- 担当業務が異なる者同士、お互いを理解し合い、事件への対応を迅速に検討する訓練を行う重要性を参加者間できた
- 他ccTLDの他組織の考えや取り組み方に触れ、お互いに気づきを得られた

←各選択したカードは、各グループごとに用意された白いボードに貼り付け。

